

国語科 文法プリント①

活用する自立語

☆「活用する」とは：…後に続く語句によって語尾の形が変わること

(例)

・走る＋ない

↓
走**あ**ない

ら

・おいしい＋た

↓
おいし**い**た

かっ

・静かだ＋う

↓
静か**だ**＋う

変化しない部分は
「語幹」

だろ

☆活用形

未然

形：…未来のこと、まだ起こっていないこと

連用

形：…後に用言が続くときの形

終止

形：…言い切りの形、句点がつくとき

連体

形：…後に体言(名詞)が続くときの形

假定

形：…もしくならばと仮定するとき

命令

形：…命令して言い切る

1 次の文章から活用する自立語を書き抜きなさい。

この運動会でもっとも印象に残ったのは、クラス対抗全員リレーです。私がいっしょに走る人たちは、全員五十メートルが七秒台で、私よりずっと速く走れます。走るのが苦手な私は、走る前から緊張していました。

残っ、走る、速く、走れ、走る、苦手な、走る、緊張し、い

2 次の語句のうち、活用するものを全て選び、○をつけなさい。

青い

面白さ

静けさ

静かだ

もっと

笑い

食べる

食欲

困る

困惑

きれいだ

美しい

国語科 文法プリント②

☆動詞の活用

① **五段** 活用：活用語尾が「ア・イ・ウ・エ・オ」の五段に沿って変化する

※連用形に音便の変化がある

- ・イ音便：「〇〇い」となる ↓ 泣**き**た
- ・撥音便：「〇〇ん」となる ↓ 飛**び**た
- ・促音便：「〇〇っ」となる ↓ 走**っ**た

い 書**き**た
ん 読**み**た
っ 立**っ**た

② **上一段** 活用：活用語尾に「イ」段の音が入り、その音を中心に変化する

③ **下一段** 活用：活用語尾に「エ」段の音が入り、その音を中心に変化する

④ **力行変格** 活用：「来る」のみ

⑤ **サ行変格** 活用：「する」「〇〇する」

3 次の活用

う(よう)ない
ます
よ
とき
ば
!

語句	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形	活用の種類
走る	走	ろ ら	り	る	る	れ	れ	五段活用
捨てる	捨	て	て	てる	てる	てれ	てよ てろ	下一段活用
働く	働	こ か	き	く	く	け	け	五段活用
来る	〇	こ	き	くる	くる	くれ	こい	力行変格活用
信じる	信	じ	じ	じる	じる	じれ	じよ じろ	上一段活用
消える	消	え	え	える	える	えれ	えよ えろ	下一段活用
する	〇	し さ せ	し	する	する	すれ	せよ しろ	サ行変格活用

国語科文法プリント③

☆可能動詞

・「～できる」という意味を加えた動詞。

・五段活用 of 動詞が下一段活用に変わり、命令形がなくなる。

例 書く（五段活用） ↓ 書ける（可能動詞・下一段活用）

4 次の動詞を可能動詞に変えて（ ）に書きなさい。

- | | | | |
|-----------|-----|-----------|-----|
| ① 飛ぶ（飛べる） | （ ） | ④ 持つ（持てる） | （ ） |
| ② 作る（作れる） | （ ） | ⑤ 買う（買える） | （ ） |
| ③ 乗る（乗れる） | （ ） | ⑥ 読む（読める） | （ ） |

☆他動詞と自動詞

・自動詞：それ自身の動作・作用を表す動詞。

原則として「○○が」に続けば自動詞

・他動詞：他へのはたらきかけとしての動作・作用を表す動詞

原則として「○○を」に続けば他動詞

5 次の空欄に自動詞と他動詞が対応するように答えなさい。

- 例 車が出る。 ⇨ 車を（出す）。
- | | | | |
|----------|------------|------------|----------|
| ① 枝が折れる。 | ⇨ 枝を（折る）。 | ④ 戸が（あく）。 | ⇨ 戸をあける。 |
| ② 火が消える。 | ⇨ 火を（消す）。 | ⑤ 木が（曲がる）。 | ⇨ 木を曲げる。 |
| ③ 傷がつく。 | ⇨ 傷を（つける）。 | ⑥ 鐘が（鳴る）。 | ⇨ 鐘を鳴らす。 |

☆補助動詞（形式動詞）

- ・本来の意味を失い、上の文節を補助する意味に用いられている動詞のこと
- ・補助の関係をつくる動詞

例 { ここに 公園がある。（動詞）
ここに 公園がある。（補助動詞）

6 次の各文の補助動詞に―線を引きなさい。

- | |
|---------------------|
| ① コスモスが 咲いて いる。 |
| ② とりあえず やって みる。 |
| ③ よく 手伝いを して くれる。 |
| ④ どんどん 値段が 上がって いく。 |

国語科文法プリント④

☆形容詞の活用

7 活用表を完成させよう

・形容詞の活用は一通りしかないので活用語尾を覚えよう！

語句	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
美しい	美し	かろ	く <u>か</u> う	い	い	けれ	○
楽しい	楽し	かろ	く <u>か</u> う	い	い	けれ	○

☆補助形容詞（形式形容詞）

・本来の意味が薄れ、上の語に補助的な意味を添える形容詞。

「ほしい」

- ・もっと たくさん ほしい。（欲しい）（形容詞）
- ・もう やめて ほしい。（補助形容詞）

「ない」

- ・間違いが ない。（無い）（形容詞）
- ・これは 夢では ない。（補助形容詞）

8 次の一線部が補助形容詞ならば○をつけなさい。

- ① この お菓子は ぜんぜん おいしく ない。 ○
- ② 冷蔵庫の 中には 何も ない。
- ③ 私は この 絵が ほしい。
は
- ④ もっと 真剣に みんなに 考えて ほしい。 ○

☆形容動詞の活用

・形容動詞の活用は一通りしかないので活用語尾を覚えよう！

語句	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
静かだ	静か	だろ	で <u>だ</u> に	だ	な	なら	○
不思議だ	不思議	だろ	で <u>だ</u> に	だ	な	なら	○

☆形容動詞の語幹の用法

① 語幹だけで述語になる 例 さあ、たいへん。 まあ、すてき。

② 語幹に接尾語「さ」をつけて名詞になる 例 静かさ（静かだ）